

しか おい

議会だより 三二版 No.76 2022.11.25

発行 / 鹿追町議会 編集 / 広報広聴常任委員会・広報部会
〒081-0292 北海道河東郡鹿追町東町1丁目15番地 1
TEL / 0156-66-4039 FAX / 0156-66-4041

臨時議会を開催 11月2日

臨時議会を開催し、一般会計の補正予算案について原案どおり可決した。

○物価高騰対応商品券事業

2806万円

家計負担の軽減と地域における消費喚起のため、全町民へ町内限定の商品券を配布する。

配布対象は、令和4年11月1日現在、本町の住民基本台帳に登録されている19歳以上64歳以下は4千円、18歳以下及び65歳以上は6千円とし、有効期限は令和5年3月15日まで。

○令和4年度鹿追町大学生等応援給付金事業

487万円

物価高騰等の影響により経済的に困窮する平成10年4月2日以降に生まれた大学生（学校法人に定める大学、短期大学、高等専門学校（4・5年）、専修学校（専門課程）及び大学院に在籍している者）及び大学生等の保護者に対し、学生1人につき3万円を支給する。

基準日は令和4年11月1日現在とし、申請期間は令和5年3月15日まで。

○くらし応援事業（生活応援セール）

150万円

景気低迷及び物価高騰等により、生活日用品等に影響を受けていることから、鹿追町商工会が事業主体となり、買い物3千円ごとに抽選券、500円ごとに抽選補助券1枚を贈呈し、抽選券または抽選補助券6枚で1回抽選ができる加盟店方式による大売出しを実施する。

売り出し期間は、令和4年12月20日まで。

抽選期間は、令和4年12月1日～12月23日（除く土日）とする。

ただし、12月17日（土）・18日（日）は抽選を実施する。

○電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援支給金

2485万円

令和4年9月30日現在、世帯全員が住民税非課税、または予期せず令和4年1月から12月までの家計が急変した世帯に対し、1世帯当たり5万円の現金を給付する。

ただし、世帯の全員が住民税を課されている他の親族等の扶養を受けている場合は対象外とする。

給付開始時期は12月下旬を予定しており、申請期限は令和5年1月31日まで。

主な質疑

〔民間路線バスの事故〕 （山口議員）

Q 10月18日に発生した、民間路線バス単独事故について説明を。

A バス事業者から、町界の上天然別付近で事故が発生した。今後はさらなる安全対策を行うとのことである。より一層の安全運行を要望した。

チヨウザメ等の先進地を視察 8月29～31日

産業厚生常任委員会は、枝幸町、美深町、士別市を視察した。

主な調査内容については次のとおりである。

○新規・移転就農（枝幸町）

枝幸町は、歌登町との合併直後は人口1万人程度であったが、その後は人口減少が止まらず、現在は7500人弱である。産業構造はホタテやカニ等の漁業と、林業及び酪農を中心とした

農業のまちである。

農業の離農率は非常に高い状況であり、町では新規就農事業を積極的に実施している。

新規就農者には国、北海道、町からの就農奨励制度もあり、農家戸数104戸に対し新規就農者は平成11～令和3年度に20戸、令和4年度に2戸が参入し、そのほかに7戸が研修中である。若い人の参入で農業者の新陳代謝が進んでいる。

枝幸町の新規就農事業は、町、農業委員会、J A、農業改良普及センター等、関係団体が全面的にサポートしている。

新規就農希望者には、枝幸町の農業へ理解を求め、地域農家とのコミュニケーション能力や経営感覚等を見て、2年間の研修を実施している。

また、就農奨励制度等により資金面での支援も幅広く行なっている。

農地の価格は10aあたり3～5万円で、新規就農者には大きな財産にならない一方、土地取得に負担が少ない状況にある。

現地調査では新規就農した40代夫婦の農場を視察した。住宅、土地及び機械の一部は離農した農家から購入したが、牛舎や搾乳機器は大幅にリフォー

ムし、相当の金額を費やした。就農4年目で経営は順調であり、現在は土地67ha、乳牛67頭、牧草はすべてラップサイレイジで保存し、放牧は行なっていない。

新規就農には自己資金も一定程度必要であり、牛舎や搾乳機器等の取得や、土地と牛の購入を合わせると大きな投資であり、手厚い助成があってもかなりの額を償還しなければならないと推測する。

若い意欲のある人の参入がこれからの農業を守り、地域に活気をもたらす事業である。



新規就農者の牛舎 (枝幸町、R4.8.29)

○チヨウザメ、新規就農、森林公園びふかアイランド (美深町)

(1) チヨウザメ

美深町のチヨウザメ館は、4種類のチヨウザメを無料で見学できる施設である。

建設費は約2億5千万円で、平成8年山村振興等農林業特別対策事業を活用した。

一方、チヨウザメ飼育は現在1万8千匹であり、本町の2.5倍もの飼育数である。飼育施設へも多大な投資が行われており、施設内は認可を受けたキャビア及び肉の加工施設があり、衛生的な環境での作業である。

第三セクターの美深振興公社(社長:山口信夫美深町長)では、塩漬けたキャビアの瓶詰「美深キャビア」を令和3年に商品化した。

同年秋の卵採取は、キャビアの生産量が過去最高の9.1kgとなり、20g瓶詰で約400個を完売したが、依然赤字であり、目指す産業化にはまだ時間がかかる。

一方、チヨウザメ養殖はまちおこし、観光振興の側面もあるが、これだけの多額な施設の投資と飼育数であっても採算割れの状況である。

本町のチヨウザメ飼育も今後の方向

性を確立し、慎重に対応しなければならない。



チヨウザメ館 (美深町、R4.8.30)

(2) 新規就農

美深町においては農業者の高齢化が進んでおり、このまま離農が進めば地域の存続が危ぶまれる状況から、新規就農を推し進めている。

平成6年度から現在まで16戸の受け入れを行なっており、現在も2組が令和6年度の新規就農を目指して研修中である。

現在もそれぞれの新規就農者が営農を続けており、そのほとんどが自立した経営を行なっていて、経営内容も順

調である。

特に新規就農者は、地域農家との信頼関係が重要で努力が必要ではあるが、地域住民も暖かく見守っている。

町の新規就農の条件として、55歳以下で心身とも健康な希望者を募っている。

就農支援として町から500、2千万円が補助されており、生活基盤の安定化をもたらしている。

一方、就農者の特徴として子供をたくさん育てる人が多く、町の人口維持にも貢献している。

(3) 森林公園びふかアイランド

美深市街から北へ8km、国道40号沿いに広がる森林公園びふかアイランドは「水と緑」をテーマに、自然に触れ合いながらのびのび遊べる自然体験ゾーンである。

総面積76haの広大な敷地内には、天然温泉、車乗り入れ可能なキャンプ場、三日月湖を望む開放的なロケーションのあるオートキャンプ場、テニスコート2面、天塩川の川下り体験ができるカヌーポート、9ホールのパークゴルフ場、人工芝でできたターフゲレンデ等のアウトドア施設が揃い、ビーチバレーやミニバレー、ミニサッカー場も完備されている。



森林公園びふかアイランド (美深町、R4.8.30)

〇いきいき健康センター(士別市)

いきいき健康センターは、士別市の健康づくりの拠点として①高齢者の生きがいをづくりと社会参画②介護予防③市民相互のふれあいを目的とした健康長寿推進を図るための施設である。

1階にサロンスペース・足湯・子供のためのクライミングウォール・交流室・相談室、2階にラウンジ・活動室・多目的室が設置されている。

また、喫茶・売店・入浴施設も設けられている。

サロン事業として、ふまねっと・囲碁・パッチワーク・切り絵サロン、介



いきいき健康センター (士別市、R4.8.31)

護予防事業として、いきいきクラブ・サフオーク元気クラブ・いきいきサロン介護予防・健康増進に関する教室・カフェ「つながり」・さんあいクラブ老人クラブ連合会の交流会老人クラブ間の交流事業や、カラオケ、ダンス、麻雀講座、認知症のチェックシステム体験等が実施されている。

健康長寿日本一を目指すために、上記の活動のほか、全国に先駆けて健康長寿推進条例、受動喫煙防止条例が制定され、市民にその意図が浸透するよう努力を重ねている。



鹿追会場の国際交流センター平成館

議会報告会・広聴会を
開催
10月26日

まちなか会議 議会報告会・広聴会が鹿追(国際交流センター平成館)、瓜幕(ウリマックホール)の2会場で開催された。合わせて4人が参加した。議員からは9月定例議会において審議、決定した予算や条例改正等の内容について報告した。

このあとの懇談会では、交通安全、合同墓、自然体験留学等について意見が出された。

12月定例議会 開催予定

7日(水) 本会議 午前10時～

8日(木) 本会議(残り) //

13日(火) 委員会代表・一般質問

午前10時～

14日(水) 本会議(最終日) //

議会中継やっています。

YouTubeで議会中継を閲覧
できます。

上記のQRコードを読み取るか、左記の時刻に鹿追町議会 議会中継ページからご覧ください。

(12月13日がおすすめです。
過去の中継もご覧いただけます)

<https://www.town.shikaoi.lg.jp/gikai/chukei/>



主な議会活動

〈9月〉

- 7日 産業厚生常任委員会
- 9日 総務文教常任委員会
- 13日 全員協議会
議会運営委員会
- 16日 定例議会 初日
- 20日 産業厚生常任委員会
総務文教常任委員会
- 21日 定例議会 一般質問
全員協議会
- 26日 決算審査特別委員会
議会運営委員会
- 28日 定例議会 最終日
全員協議会

〈10月〉

- 4日～6日 総務文教常任委員会 所管事務調査
(大空町、北見市、津別町、鶴居村)
- 11日 広報広聴常任委員会 広報部会
- 17日 広報広聴常任委員会 広報部会
- 19日 議会運営委員会
総務文教常任委員会

産業厚生常任委員会

- 26日 まちなか会議 議会報告会・広聴会
- 27日 美深町議会 行政視察
- 28日 全員協議会

〈11月〉

- 2日 第4回臨時議会
総務文教常任委員会
- 14日 広報広聴常任委員会 広報部会
- 22日 まちなか会議 議員とカフェでひとこと
- 24日 産業厚生常任委員会

(今後の動き)

- 29日 総務文教常任委員会
- 30日 産業厚生常任委員会

〈12月〉

- 2日 全員協議会
議会運営委員会

広報広聴常任委員会

広報部会

- 部会長 台蔵 征一
- 副部会長 清水 浩徳
- 部会員 安藤 幹夫
- 部会員 川染 洋
- 部会員 山口 優子

今は亡きM氏の誘いで、ある慈善団体に加入し40年が過ぎた。活動を通じての交流は、人生において己を広く深く育ててくれて、大変有り難い。

長い人生では、苦しくて一人では辛いときが数多くあり、そのたびに人々から助けられ悩みを和らげていただいた。私もいつかは人の悩みを和らげられればと思う。

一緒に活動しましょうと多くの方々へお話しするが、良い返事がない。

多くの人々との交流により、世の中が違って見えてくると思っています。



畑 久雄

40年の付き合い

議員コラム

控え室